

鹿児島県屋久島沖における米軍オスプレイの事故について

概要 (全て日本時間)

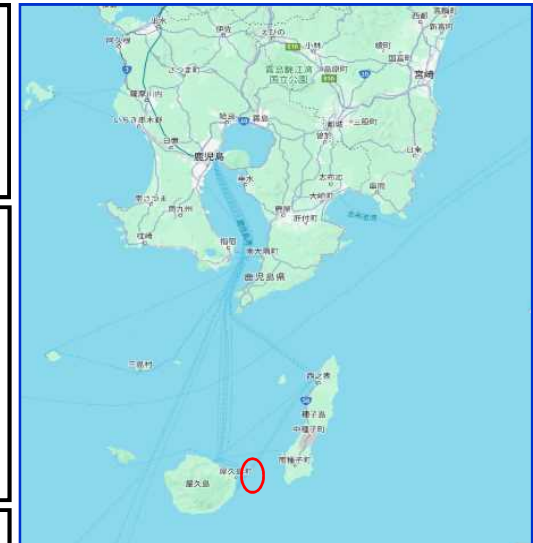
- 令和5年11月29日1440頃
- 鹿児島県屋久島東側の沖合にて、訓練中の米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が墜落
- 12月6日、米軍は乗員8名全員について死亡を認定
- 飛行経路は岩国基地～嘉手納基地

現地における捜索救助・回収活動

- 11月30日 松本防衛大臣政務官が屋久島町長、屋久島漁業組合長、鹿児島県知事を往訪し、お詫び及び事故の説明を実施
- 事故発生直後から米軍による捜索救助活動を実施（これまで乗員7名を収容）
※自衛隊の捜索活動支援は12月23日に終了。現地調整所は引き続き活動。
- 12月24日 米艦船「サルポア」が現場海域に到着し、捜索回収活動を実施
- 12月28日 回収した機体を米海兵隊岩国基地に搬送
- 本年1月8日 米艦船「サルポア」が現場海域に到着し、引き続き捜索回収活動を実施
- **1月12日 米軍による捜索回収活動を終了**

日米の主なやりとり (全て日本時間)

- 11月30日 大和防衛省地方協力局長⇒ラップ在日米軍司令官
- 11月30日 上川外務大臣⇒エマニュエル駐日米国大使
- 11月30日 木原防衛大臣⇒ラップ在日米軍司令官へ要請
国内に配備されたオスプレイについて、捜索救助活動を除き、飛行にかかる安全が確認されてから、飛行を行うよう要請するとともに早期の情報提供を求めた
- 12月 6日 バイデン大統領及びオースティン国防長官から、乗員の死亡を悼むとともに、日本の海上保安庁、自衛隊、地元の方々による捜索救助活動への支援に謝意を表すメッセージを发出
- 12月 6日 岸田総理⇒バイデン大統領
上川外務大臣⇒プリンケン國務長官及びエマニュエル駐日大使
木原防衛大臣⇒オースティン国防長官及びラップ在日米軍司令官
秋葉国家安全保障局長⇒エマニュエル駐日大使 それぞれ弔意を表す書簡を发出
- 12月12日 木原防衛大臣⇒オースティン国防長官 飛行にかかる安全が確認されてから飛行を行うことを改めて要請、事故の状況や今後の安全対策について情報提供を求めた
- 米側からの説明
12月 1日・CV-22の飛行を行っていない
・日本に配備されている全てのオスプレイは、徹底的かつ慎重な整備と安全点検を行った上で運用
・事故に関する可能な限り詳細な情報を透明性をもって共有
12月 4日・全てのオスプレイの部隊は、CV-22の事故をしっかりと踏まえた上で、安全点検及び予防的な整備を継続的に行っている
12月 7日・米軍は、リスクを軽減するため、オスプレイの保有する全ての軍種において、オスプレイの運用を停止する旨発表
※陸自オスプレイは、事故の状況が明らかになるまでの当面の間、飛行を見合わせることにしている



(出典：米国防総省HP)

全幅	25.8 m
全長	17.4 m
全高	6.73 m
最大離陸重量	約24,000 kg
最大巡航速度	約446 km/h
乗務員+搭乗者数	4名+24名

(出典：米空軍ファクトシート)